

1 研究主題

- 糸魚川市児童生徒の実態及び地域の実情に即した課題を明確にし、それに基づいた研究を推進する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた図工・美術教育の振興を図る。

2 研究の概要

- (1) 会員の指導力の向上を図る研修の実施
- (2) 糸魚川市児童生徒図工美術作品展の開催を通じた地域における美術教育の振興

3 研究・活動の実際

(1) ステンドグラス制作研修

- ① 日時 平成25年8月8日(木) 13:40～16:30
- ② 講師 「ステンドグラススタジオ三宅」担当者様
- ③ 内容 ステンドグラス作品(壁掛け, 小物入れ, ランプフェード等)の制作及び鑑賞
- ④ 参加者 会員8名
- ⑤ 概要 ・市内南能生地区にある「ステンドグラススタジオ三宅」を訪れ, ステンドグラス作品の鑑賞を行うとともに, いろいろな制作技法等について指導を受けた。児童生徒への指導・支援に生かせるような, 作品における光の生かした方, 色や質感の違うガラスの個性を生かす工夫などの話を聞くことができた。その後ハンダを使う手法で担当者の指導を受けながらステンドグラスの小物制作に取り組んだ。

(2) 授業研究会

- ① 日時 平成25年11月13日(水) 14:40～16:30
- ② 会場 糸魚川市立青海中学校
- ③ 授業者 青海中学校 堀 真由実 教諭
- ④ 題材 「青海中ゆるキャラグランプリ～青中Webキャラクターを作ろう～」(視覚伝達デザイン)
- ⑤ 指導者 上越市立城北中学校 教頭 石川 清春 様
- ⑥ 参加者 会員10名
- ⑦ 概要 ・美術教育における言語活動の充実の在り方にスポットを当てた, 中学校1年生の授業公開を参観しその後研究協議会を行った。
今回の公開授業は, 生徒の興味を喚起しやすい“ゆるキャラ”を取り上げ, 青海中のWebキャラクター作りをグループで進めるという単元構成の学習活動であった。公開授業は, 自分たちの考えた“ゆるキャラ”の特徴や魅力を発表し, 他のグループからアイデアをもらって, よりよいものにしていこうとする話し合い活動を中心に進められた。視点を絞ってアドバイスし合うことで, 改善や工夫の出来る意見が多数出された。また, 生徒たちは「自分たちの作品をもっとよくしたい」という意欲を, より一層高める話し合いに発展させていた。

(3) 糸魚川市児童生徒図工・美術作品展

- ① 期 日 平成25年11月16日(土)～11月18日(月)
- ② 会場 青海総合文化会館「きらら青海」展示室
- ③ 概要 ・展示内容は糸魚川市内の児童生徒が, 普段の授業やクラブ活動, 部活動等で制作した平面作品や立体作品である。3日間の期間中に1100人の参観者があり, 年々増加する傾向にあることから, 地域の図工・美術に関する大切な行事として定着している。

4 成果と課題

- 授業研究会では, 研究推進委員が事前に集まって指導案の検討会を行うことにより, 授業のねらいにせまる多様な手立てを講じて授業に臨むことができた。また, ステンドグラス制作体験では, 普段あまり経験できない作品づくりを体験し, 個々の技量と資質の向上を図ることができた。
- 小規模校が多く複数の教科を兼ねて担当している教職員が多いため, 一斉研修の公開授業の成果が必ずしも全ての学校へ還元できないことが課題である。